

菊輪台を使用した野蚕の簡易採卵法

福島県蚕業試験場養蚕部
平成13年度福島蚕試年報

1 部門名

蚕糸—その他—その他
分類コード 09-99-99000000

2 担当者

三田村敏正・松木伸浩

3 要旨

天蚕の効率的な採卵方法のひとつとして、岩手県においてその有効性が認められている菊輪台を用いた簡易採卵法(阿部ら,2001)が、福島県内においても利用可能かどうかを検討した。

採卵は試験場内の屋外軒下で行い、50cm×40cmのネット(1ミリ目)の出口に直径15cmの菊輪台を取り付け、この中に羽化直後の天蚕、ウスタビガをそれぞれ雌雄1頭ずつ入れた。対照は雌雄1頭ずつを採卵カゴに入れる通常の方法とした。試験は天蚕が8月14日から9月4日まで、ウスタビガでは11月5日から11月21日までの間行い、交尾率を調査した。交尾率は天蚕では卵を切開し、前幼虫を確認した蛾区を、ウスタビガでは日中、交尾をしていた蛾区を交尾とカウントして算出した。

その結果、天蚕の交尾率は対照の91.3%に対して、試験区では97.9%とさらに高い傾向であった。一方、ウスタビガでも対照の39.0%に対し試験区では43.9%とやや高い傾向を示した。以上のことから、菊輪台を用いた採卵法は、本県において天蚕とともにウスタビガについても有効と考えられた。

4 その他の資料等

なし